



大森六中だより

令和8年 6月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 早川 隆之
TEL 3726-7155

利他の心がつくる学校

校長 早川 隆之

本校ではこれまで、「利他の心」という言葉が大切に語り継がれてきました。利他とは、自分の利益だけを考えるのではなく、相手のことを思い、その幸せや成長のために行動しようとする心です。前校長の菅野哲郎先生も、生徒たちに繰り返しこの言葉の大切さを伝えてこられました。

私たちは日々、多くの人との関わりの中で生活しています。学校も地域も、互いを思いやる気持ちによって支えられています。だからこそ、一人一人が「自分の行動は相手にどのような影響を与えるだろうか」と考えることが大切です。

その反対にあるものの一つが「卑怯」という行為です。卑怯とは、自分の立場を守るために責任から逃げたり、人の見ていないところで人を傷つけたりすることです。例えば、陰で悪口を言う、誰かの失敗を面白がる、自分は安全な場所にいて他人を攻撃する。このような行為は、相手の心を深く傷つけるだけでなく、自分自身の信頼も失わせてしまいます。

また、「火事場泥棒」という言葉があります。本来は災害や混乱に乗じて人の財産を奪う行為を指しますが、その本質は「困っている人を利用して自分の利益を得ること」にあります。学校生活に置き換えれば、失敗した友達を笑うことや、弱い立場の人に責任を押し付けることも同じです。誰かの苦しみを自分の得に変える



六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

行為は、人として決して許されるものではありません。

では、私たちは弱い立場の人に対してどのように行動すべきでしょうか。困っている人を見かけたら声をかける。仲間外れにされている人がいたら寄り添う。誰かが理不尽な思いをしていたら見て見ぬふりをしない。そのような勇気ある行動こそが、利他の心の表れです。強い人とは、自分の力を誇示する人ではありません。自分より弱い立場の人を守り、支えることができる人です。

社会には様々な立場や考え方をもち人がいます。だからこそ、お互いを尊重し、思いやることが求められます。本校が目指すのは、一人も取り残さない温かな学校です。その実現のためには、教職員だけでなく、生徒、保護者、地域の皆様のお力が欠かせません。

「自分さえよければよい」ではなく、「誰かのために何ができるか」を考える。その小さな積み重ねが、安心して学び、成長できる学校をつくれます。これからも大森第六中学校は、利他の心を大切にしながら、生徒一人一人の豊かな人間性を育んでまいります。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

ゴーヤグリーンカーテン

本校のボランティア団体「農援隊」による「ゴーヤグリーンカーテン」の設置を5月12日に行いました。グリーンカーテンとは、植物のつるをネットに這わせ窓辺を覆うことで日差しも暑さも和らげる取り組みのことです。見た目にも涼しさを感じられるだけでなく、室内の上昇温度を抑え、省エネルギーにもつながります。

当日は農援隊隊員たちがそれぞれの役割に分かれて活動を行いました。赤玉土をプランターに敷き、腐葉土をたくさん入れ、培養土や肥料も混ぜいれ、苗を植え、重くなったプランターをそれぞれの教室のベランダに運ぶという作業を協力して行っていました。今ではそれぞれのクラスで



ゴーヤの苗が元気に大きくなることを願いながら、毎日水やりが行われています。

また、ゴーヤが元気に育つためには、毎日の水やりだけでなく、成長に合わせた手入れが必要になってきます。その第1段階として6月2日に「追い肥」という、肥料をさらに足す作業を行いました。追い肥はこのあと成長に合わせてさらに2回行われます。

また、つるの先を切る「摘心(てきしん)」という作業も行いました。摘心をすることで芽が枝分かれし、葉が広がって、より立派なグリーンカーテンへと育っていきます。

生徒達は、ゴーヤグリーンカーテンの変化をよく観察しながら、命あるものを育てる責任や楽しさを感じているはずです。7月中旬ごろには青々とした葉が校舎を彩り、暑さを和らげてくれることでしょう。

今月の行事報告

令和8年度運動会

5月30日(日)、真夏を思わせるような晴天のもと、運動会を開催しました。当日は強い日差しが照りつける厳しい

暑さとなりましたが、生徒たちは最後まで元気に競技や応援に取り組み、大きな体調不良者もなく無事に終えることができました。

今年のスローガンは「勝舞闘武士(カブトムシ)」でした「勝負に挑み、仲間とともに闘い、たくましく成長する」という思いが込められた言葉のとおり、生徒は一つ一つの競技に全力で取り組み、励まし合いながら、力を存分に発揮していました。

特に印象的だったのは、生徒たちの自主的な行動です。3年生は運動会を支える最高学年として、準備で、1・2年生も競技終了後の片付けを率先して取り組んでいました。運動会は競技の結果だけでなく、生徒一人一人が行事を支える主役として行動できるかが大切だと考えます。今回、生徒が見せた自主性や協力する姿勢は、本校の大きな財産であり、今後の学校生活にも生かされることでしょう。保護者の皆様、地域の皆様には暑い中でのご声援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

